

# 与那国への自衛隊配備に反対です。

## なぜ、いま自衛隊の増強なのか

民主党政府は昨年12月に、「新しい防衛計画の大綱」を定めました。この中で政府は、九州・沖縄方面の自衛隊の増強や、南西諸島の防衛強化を打ち出しています。与那国島への自衛隊の配備は、この方針に基づいて行われようとしているのです。

九州・沖縄の自衛隊増強は、アメリカの要請に基づくものです。アメリカは長年、中国・台湾関係や、朝鮮半島情勢など、さまざまな理由をつけて中国の近海で軍事活動を行ってきました。中国は自国の周辺海域でアメリカ軍が活動することを危惧していましたが、中国の海軍は小規模なためアメリカ海軍に対抗することができませんでした。しかし近年、中国は経済成長を背景に、海軍の近代化を進めたのです。中国海軍が大型艦船を保有して太平洋まで出てくるようになると、こんどはアメリカが危機感を持つようになりました。そこで日本や韓国とともに、中国海軍を封じ込めようとしているのです。このままでは日本は、アメリカと中国の軍事競争に巻き込まれてしまいます。

九州・沖縄は、海を挟んで中国・台湾・朝鮮半島・東南アジアと接しています。長い間、国や民族を超えた交流が行われてきました。米中の軍拡競争は、この地域の平和に悪影響を及ぼすでしょう。日本が行うべきことは、アメリカの軍拡への協力ではなく、地域の人や経済の交流を発展させることではないでしょうか。

## 南西方面での自衛隊配備計画

### 現在の自衛隊

- 奄美大島  
(海自) 奄美基地分遣隊 (約20人)  
(空自) 奄美通信隊 (約30人)
- 沖伊良部島  
(空自) レーダー (約170人)
- 沖縄本島  
(陸自) 第15旅団 (約2100人)  
(海自) 第5航空群 (約1400人)  
(空自) 南西航空混成団 (約2890人)
- 久米島  
(空自) レーダー (約150人)
- 宮古島  
(空自) レーダー (約180人)

### 新設される自衛隊

- 馬毛島  
(自衛隊) 展開訓練施設  
大規模災害集結施設  
島嶼部への上陸対処訓練施設  
(米海軍) 空母艦載機の着陸訓練施設
- 沖縄本島  
(陸自) 第15旅団の改編・増強  
(空自) 戦闘機部隊を1個→2個に増強  
(海自) 貯油タンク整備
- 先島諸島 (宮古島・石垣島・与那国島)  
(陸自) 沿岸監視部隊の新設  
(陸自) 初動担任部隊の新設

## 陸自、島しょ防衛で訓練 海上の敵艦想定

(南日本新聞インターネット版11月12日)

自衛隊は12日、奄美市住用の沿岸部で、他国の武力攻撃を想定した地对艦誘導弾ミサイル (SSM) 部隊の展開訓練を公開した。九州南西と沖縄方面で14日から実施する島しょ防衛強化を狙った陸海空3自衛隊の統合演習の一環。

中国の海洋進出を念頭に昨年策定された「新防衛大綱」と「中期防衛力整備計画」を受けた有事対処の機動訓練。陸自は本年度、SSMを18基導入、今後5年間で100基程度配備し、南西諸島に重点配備する構想を検討している。防衛省は大綱で「動的防衛力」の強化を掲げており、離島への迅速な部隊移動が課題となっている。

訓練には民間フェリーで輸送した陸自第5地对艦ミサイル連隊 (熊本市) のSSM2基と隊員約40人が参加。海上に現れた敵国艦艇を想定し、ミサイル発射の手順を確認した。  
(以下略)



自衛隊は奄美諸島の基地強化も狙っています。11月に行われた演習では、陸上自衛隊が上陸してミサイルが公園に展開しました。実戦で敵から反撃された場合、どうやって住民を守るのでしょうか。